

(学校用)

様式 A-1

平成 24年 7月 24日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 国立明石工業高等専門学校 教授 松宮 篤 _____
2. 講師氏名: _Jeremie Jean Martial BRIEUSSEL 博士 (京都大学理学研究科) _____
3. 同行者氏名: _福本 佳泰 (京都大学理学研究科 修士 学生) _____
4. 実施日時: 平成 24 年 7月 19日 (木) 13:00~14:30
5. 参加生徒: 1年生 42人、 ___年生 ___人、 ___年生 ___人 (合計 42人)
備考: 建築学科第1学年 学生
6. 講演題目: (英文) _____ Constructions of expanding graphs _____
(和文) _____
7. 講演概要: 講師の母国フランスの紹介(地理的な位置、歴史、フランス革命、数学者ガロワ)、よいネットワーク(Good Connected)について
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
黒板による解説 _____
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者による説明が少しあった。 _____
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

打ち合わせで講義内容に、行列、行列の掛け算、数列の極限が含まれることをお知らせいただいたので、行列、行列の掛け算、数列の極限について事前に教えておいた。 _____
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): なし 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: 受け入れる側である松宮はフランス語が話せたので、スムーズに意思疎通がはかれたように感じた。